

美術科 2年

構図に思いをのせて

【活動の目標】

知・技：写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の静止などに着目し、印象などをとらえ、カメラの特性を生かして表す。

思・判・表：被写体の印象や瞬間の美しさなどをもとに、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

主：写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。

【 問 い 】

- ・4月の初めに、「抱負」や「決意」というテーマで作品を作ることで、意欲を持たせる。
(「問い」の工夫Ⅰ)
- ・カメラ機能を使うことで、構想や構図を見える形にすることが容易である分、何枚も写真を取り直すことで試行錯誤することができる。(「問い」の工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面	従来 の活動
B4 表現・制作 chromebook のカメラ機能をつかって題材を表現する写真を撮影する。	デジカメをグループで1台貸し出すなどして、複数で共有する。
C1 発表・話し合い ・出来上がった作品を相互鑑賞をする際、データをそれぞれの手元で見ることができる。 ・写真と、主題を1つのシートにまとめる。	デジカメデータをプリントして、ワークシートに貼り付け、作品を見せ合いながら相互鑑賞を行う。

【資料】 作品例

2年美術
構図に思いをのせて
「2年生の抱負・決意」

作品 (この下に画像を挿入してください)



作品に込めた思い・構図の工夫

作品に込めた思い	建物からではなく、自然にも関わりながら自由な自分を取り上げたいという思い。
構図の工夫	三点構図法
撮影の工夫	できるだけ前面をすれすれから見上げるような感じにして、いつもは体験しないような景色が写るようになった。→縦向き画面を横向きにカメラを置いて、明るい方向に向けて撮る。→世界観が広がるような感じを目指す
その他の工夫	写った風景を鑑賞→物語の想像も感じさせる? 拡大を試しながら決めて、開放的な感じ

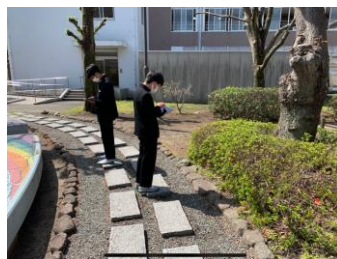
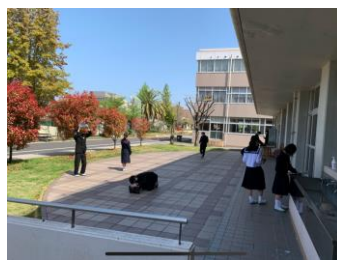
2年美術
構図に思いをのせて
「2年生の抱負・決意」

作品 (この下に画像を挿入してください)



作品に込めた思い・構図の工夫

作品に込めた思い	勉強を頑張りたいと思うので、セパレーションを上げられるようにお尻に入りたかった。
構図の工夫	一番好きなもの(季節)を右にすることで、勉強風景を表現しました。手を動かすことで物語に文脈を感じている感じになるので、見直した時に自然な流れが感じられるように意識しながら撮影を行いました。正面ではなく斜めから撮ることで、実際の撮影に近づけようと思いました。ハム
その他の工夫	私の持っている文房具は自分でデザインしたものが多かったため、他のパソコンをよそよそしく、持っている中で色合いが合う「電卓シート」を探し、色合いを調えやすかったです。この中から1冊の「またまた家を出てさっさとしたい」もあそびと取り分け、加工して撮った感じの写真にし、目標の自分を取り戻しているような雰囲気になりました。



【ICT 機器を活用する良さ】

○一人一台持っていることで、自分のタイミングで、様々な写真を撮って試行錯誤しやすい。
○デジカメに比べ、画面が大きいので、どういう構図か確認でき、撮りながら調整できる。
○写真を撮ったあと主題や、表現するための工夫などが端末の中でまとめることが容易である。

【改善すべき点と原因および改善案】

・普段写真を撮りなれているため、主題をもとに撮るといふより、見栄えのいい写真を撮ることに意識がいつている。

⇒原因

はじめに構想を練らずに、写真を撮ってみるところから始めたことで、考えが深まっていない。

⇒改善案など

撮りながらの試行錯誤も必要だが、まずは、構想を練ってどういう構図でどんなものが対象になると主題を表せるのかと言うことを考える時間を確保する。